

法人名	NPO 法人ワーカーズ コープかがやき	代表者	新井 厚美	法人・ 事業所 の特徴	「わが家で暮らし、わが家で老いる」を目標に、ご利用者様ご家族様の意向をくみ取りスタッフが関わりを多く持ち、個別ケア対応で支援させていただきます。他事業所とも連携を取りながらその方に合った生活を継続できるような提案を心掛けています。 通い・訪問・宿泊をお一人おひとりにあったプランを提供することで、日常生活にメリハリを持ち、楽しみに通って来ていただける「居場所」の提供を全スタッフが目指しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 たわわ善光寺下	管理者	片岡 茂子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	人	人	1人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に改善できそうな事に絞り、現時点時必要な事を項目ごとに改善計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> できている点も多くあり年数を重ねる中でマンネリ化しないようにしていきたい。 出来なかったことは引き続き検討していくようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍地域のことが分かりづらかった。 今後どこまで改善が出来るかわからないが、意識しながら業務をしていきたい 	<p>具体的に改善できそうな事に絞り、現時点で実行可能でかつ必要な事を項目ごとに改善計画を立てる。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 明るく元気に過ごしていただけるように全スタッフ接遇に気を配る。 室内で過ごす時間が長いので、室内を明るい雰囲気にしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要最低限の来所者は消毒をしていただき相談・見学を行ったが感染拡大レベルに合わせ都度検討しながら対応をした。 室内の環境を見直し動線確保をしながら、動きやすいよう家具等の配置をしている。 臭いに関しては換気も含めスタッフ全員で充分気をつけている。利用者さんは落ち着いてゆったり過ごしている感じが良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 室内は季節感のある壁画等で明るくするように工夫している。 日中は玄関ドアの施錠は行っていない。換気も兼ねてお天気の良い日はドアを開け外部から見えるように開放している。 接遇は必須研修なので毎年行っている。 臭いは室内にいと気づかない事が多いので通年通して空気清浄機や空調換気を行い室温・湿度のチェックをして記録に残している。 	<ul style="list-style-type: none"> 明るく元気に過ごしていただけるように、全スタッフが接遇に気を配る。 室内で過ごす時間が長いので、利用者さんにとって居心地の良い居場所の提供をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染レベルを考慮しながら、感染予防を徹底して、地域のボランティアさんの受け入れをしていく。 地域の方が気軽に介護相談ができる場所と認識していただくために「介護相談場所」の掲示をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアさんの受け入れは感染状態が少し落ち着いた春・秋に対応。その後予定はしたが中止になってしまった。 「介護相談場所」の掲示は状況的にできづらかった。 新しい事をやろうとするのも大事だが、今やれていることを継続していきたい。 地域交流はコロナ感染レベルが低下しても、コロナ禍においてある程度の収束が見られるまでは困難かと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のこの一年地域交流は困難でした 地域包括支援センターとの連携を強め困難事例等積極的に関わり対応をしていく様にしている 買い物支援の希望もご家族からなく、ご利用者さんも外出に対して消極的になりつつある。 外のベンチには時々通行人が座って休んでいるが、今年も声が 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍充分注意して地域の方の訪問やボランティアさんの来所を徐々に増やしていく。 単独支援困難な場合は利用者さん担当の地域包括支援センターと連携を取りながら支援をしていく。

			<p>けはなかなかしづらく中～様子</p> <p>確認のみに留めた。</p>	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> • 以前のように散歩ができるようになったら、馴染みのある近隣の地域に出かけていき買物・散歩・外食等行う。 	<ul style="list-style-type: none"> • 外食は実施無し。 • 地域密着の観点から近隣在住の利用希望者を優先している • ご近所の高齢ご夫婦の様子は常に気にして連絡があれば緊急訪問等対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 利用者さんはたわわに通いで家を出ること自体が良い刺激になっているので、通院以外の外出先との位置づけになっている。 • 新型コロナウイルス感染拡大のため近隣の散歩は短時間少人数で行った。良い気分転換になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • コロナ禍 感染予防に注意しながら以前の生活に徐々に戻る様にしていく。 • 馴染みのある近隣の地域に出かけていき買物・外食・散歩等行う。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> • 運営推進会議内で地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける • 見学や相談を受け、当事業所利用に該当しない場合は、他事業所に繋ぎ近隣の事業所と連携をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> • 会議中、地域の役員さんから包括支援センター職員の方に相談していることはある。 • 地域の困りごとや状況について会議の議題になり、検討しても解決策までは行かないことが多い。共有は出来るだけ図るように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 運営推進会議開催回数が少なくさらに時短で行ったのであまり情報共有はできなかった。 • 地域の中で起こっている事に対して介護施設として関わりが持てる場合は積極的にお手伝いをしていくようにしている。 • 当事業所のサービスに何らかの理由で繋がらなかった場合は近隣の他事業所（小多機・看多機）紹介をして情報提供をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。 • 地域の情報収集の場にしながら、何か支援できることがあれば協力していく。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> • BCP（事業継続計画）の策定に向けて学習を進めていく • スタッフの事業継続計画必要性の認識を構築していく。 	<ul style="list-style-type: none"> • BCP 対策策定完了 • スタッフの学習会開催 • 自火報、非常ベル、スプリンクラーの使用方法を全スタッフが周知しておく必要があるため、スタッフの勉強会を行った。 • 災害時事業所が地域にどのような支援が出来るのか、検討していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> • 地域との協力体制も考えていけないといけないと思うので、地区役員さんと連携を取っていくことが今後の課題。 • 最近の災害を鑑みると地震・火事以外の災害を意識しながら避難訓練を行うことが今後は不可欠になってきている。 • 新型コロナウイルス感染予防のため、密になる避難訓練は、何度か計画は立てたが、感染拡大の状況を判断して利用者さん参加での実施はできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> • BCP（事業継続計画）研修会等で全スタッフの意識統一を行う。 • 災害時における地域の支援体制の確認を行う

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・「居場所」として意識して頂けるような工夫をする			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？			

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	<p>前回の改善計画について取組んでいましたか？</p> <p>-----</p> <p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スタッフ共に地域に出ていく。 近隣の散歩・買物等外に出ていく。 ・ 地域に提供する場所を作る 歩行中の方がお休みできるよう施設前にベンチを置き利用していただく。 			
1	職員はあいさつできていますか？			
2	事業所は、地域の方に知られていますか？			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？			

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	<p>前回の改善計画について取組んでいましたか？</p> <p>-----</p> <p>【前回の改善計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の散歩・買物・外食等地域に出ていく機会を多くする。 			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？			
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・運営推進会議の中で地域関連の事例を話し合う時間を設け情報の共有に努める。			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？			
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？			

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 ・防災計画を立て年2回避難訓練を実施する。			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6		
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	6		
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・ミーティングはコロナの影響を受け中止（資料配布）の時もあったが短時間でも定期的に行っている。
- ・コロナ禍諸々スタッフの負担も大きく特に気持ちの上での負担感が大きいと感じる。
- ・毎年同じような意見が出ているが振り返りを行い反省になるので良い機会と考える。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・日々の業務に追われる中、評価内容を常に意識していくことは難しいと感じた。
- ・出来ている点も多くあり年数を重ねる中でマンネリ化しないようにしたい。
- ・出来なかったことを認識して今後も引き続き検討していく必要のある項目がある。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・具体的な意見が出ているが日々の多忙な業務の中で行うのは簡単ではないように思う。
- ・改善点を出し合いそれを皆が良い機会と捉えて意識共有することに意義がある。
- ・今後も続くであろうコロナ禍どこまで改善できるかわからないが、改善すべき点を意識しながら業務をしていきたい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・時間が足りない中でのミーティングやカンファレンス等の開催は必要最低限の回数は継続していくよう努力する。ミーティングでの共有はケアの質・レベルを統一するために必要かつ大事なことだと思う。
- ・コロナ禍地域の交流が減り地域のことも情報がなくわかりづらい状況になっている。
- ・評価ミーティングは忙しい業務の間に行うのはたいへんだが、事業所の評価を客観的に考えての反省の機会と今後も前向きに捉えていきたい。

【改善計画】※後日記入

- ・具体的に改善できそうな事に絞り、現時点で実行可能でかつ必要な事を項目ごとに改善計画を立てる。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6		
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	6		
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	5		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・常にスタッフがいるので何時でも出入りはしやすいと思う。今年も消毒に気を配り、来所者名簿を記入していただいたり、業務全体に手間や時間がかかり大変だった。
- ・日中は玄関の施錠はしていない。お天気の良い日は玄関ドアを開けて外から見えるようにしている。
- ・臭いに関しては換気も含めスタッフ全員で充分気をつけている。利用者さんは落ち着いてゆったり過ごしている感じが良いと思う。
- ・利用者さん家族や地域のボラさん、他事業所関係者含め外部からの人の出入りに関しては新型コロナウイルス感染予防のため最低限にしている。現在も制限中。緩和の検討も必要。
- ・室内の環境を見直し動線確保をしながら、動きやすいよう家具等の配置をしている。

【前回の改善計画】

- ・明るく元気に過ごしていただけるように、全スタッフが接遇に気を配る。
- ・室内で過ごす時間が長いので、室内を明るい雰囲気にしていく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・新型コロナウイルス感染予防のため訪問者の室内の出入りは極力避け、玄関と室内の中間部で対応している。
家族の訪問や新規利用者さんの見学等コロナ禍ではあるが徐々に少人数での対面对応をしている。今後もコロナ感染レベルや法人の指針等を考慮して対応していきたい。
- ・スタッフの接遇研修はプライバシー保護・倫理・拘束の禁止等の研修とともに毎年実施。
- ・季節を感じる壁画等工夫して殺風景にならないようにしている。今年も外出がなかなかできなかったので利用者・スタッフ皆で関わりながら作品作りを楽しんだ。
- ・排泄物の処理については以前からスタッフ全員が決められた方法で行い気をつけている。
- ・臭いは室内にいと気づかない事が多いので通年通して空気清浄機や空調換気を行い室温・湿度のチェックをして記録に残している。
- ・コロナ禍の生活がまだしばらく継続することを見据え改善点は継続対応にする。

【今回の改善計画】 ※後日記入

- ・明るく元気に過ごしていただけるように、全スタッフが接遇に気を配る。
- ・室内で過ごす時間が長いので、利用者さんにとって居心地が良い居場所の提供をしていく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	4		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	4		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 外来者の方に対してはスタッフから挨拶をするように気をつけている。
- ・ 地域包括支援センターとの連携を強め困難事例等積極的に関わり対応をしていくようにしている
- ・ 新しい事をやろうとするのも大事だが、今やれていることを継続していきたい。
- ・ 地域交流はコロナ感染レベルが低下しても、コロナ禍においてある程度の収束が見られるまでは困難かと思う。

【前回の改善計画】。

- ・ コロナ感染レベルを考慮しながら感染予防を徹底して、地域のボランティアさんの受け入をする。
- ・ 地域の方が気軽に介護の相談ができる場所と認識していただくために「介護相談場所」の掲示をする。
- ・ コロナ禍充分注意して地域の方の訪問やボランティアさんの来所を徐々に増やしていく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・ 日々の業務が施設内で完結することが多い。特に新型コロナウイルス感染予防のため地域のイベントや行事が今年もほぼ中止になってしまった。
- ・ 個人的に地域のラジオ体操や老人クラブに参加している方はいるが、スタッフがお手伝いする必要は今のところない。
- ・ 買い物支援の希望もご家族からなく、ご利用者さんも外出に対して消極的になりつつある。
- ・ 外のベンチには時々通行人が座って休んでいるが、今年も声かけはなかなかしづらく中～様子確認のみに留めた。
- ・ 地域ボランティアさんの受け入れは感染状態が少し落ち着いた春・秋に対応。その後予定はしたが中止になってしまった。
- ・ 「介護相談場所」の掲示は状況的にできづらかった。

【改善計画】 ※後日記入

- ・ コロナ禍充分注意して地域の方の訪問やボランティアさんの来所を徐々に増やしていく。
- ・ 単独支援困難な場合は利用者さん担当の地域包括支援センターと連携を取りながら支援をしていく。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5		1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	3	1	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		4
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議で地域の方の事例が包括支援センター職員・民生委員さんのほうから話が出た時は利用に繋げたりして対応している。
- ・地域密着施設なので近隣在住の利用者さん優先にご利用をいただいている。
- ・ご近所の高齢ご夫婦の様子は常に気にかけている。緊急訪問等の連絡時スムーズに対応できるように連絡体制を構築支援している。

【前回の改善計画】

- ・以前のように外出ができるようになったら、馴染みのある近隣の地域に出かけていき買物・外食・散歩等行う。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・近所の方に見守りや訪問をお願いしても介護サービスが関わりだすと関係が希薄になる。
- ・地域に出ていくことは大切と思うが、利用者さんの心身状態をみると負担が大きい場合がある。落ち着いて過ごさせていけば良いのではないかと思う。
- ・散歩は天候を見ながら近隣を短時間少人数で行った。良い気分転換になっている。
- ・買い物はマンツーマンで人混みのない時間帯を見計らい対応していたが、コロナ感染拡大に伴いご家族からの依頼もなく、世間一般が高い意識で高齢者の感染予防に注意していることが窺える。
- ・外食に対しては新型コロナウイルス感染拡大の期間が長く実施できなかった。
- ・利用者さんはたわわに通いで家を出ること自体が良い刺激になっているので、通院以外の外出先との位置づけになっている。

【改善計画】※後日記入

- ・コロナ禍 感染予防に注意しながら以前の生活に徐々に戻る様にしていく。
- ・馴染みのある近隣の地域に出かけていき買物・外食・散歩等行う。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6		
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6		
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	6		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・運営推進会議の報告でたわわの運営・利用状況は報告している。
- ・地域の役員さん（民生児童委員）から包括支援センター職員に相談していることはある。
- ・運営推進会議の提案や意見は定期ミーティングやスタッフの会話の中で話題にして、今後活かせるよう改善に繋げている。
- ・地域の困りごとや状況について会議の議題になり、検討しても解決策までは行かないことが多い。共有は出来るだけ図るように努めている。

【前回の改善計画】

- ・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。
- ・当施設の利用に向かない場合は他事業所を紹介したり連携を持つようにする。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議の開催回数が少なくさらに時短開催だったので、情報共有はなかなかできなかった。
- ・地域の中で起こっている事に対して介護施設として関わりが持てる場合は積極的にお手伝いをしていくようにしている。
- ・包括支援センターからの依頼で新規利用に繋がる等検討事例がある。
- ・当事業所のサービスに何らかの理由で繋がらなかった場合は近隣の他事業所（小多機・看多機）紹介して情報提供をしている。

【改善計画】※後日記入

- ・運営推進会議時、地域の困りごとについての話し合いの時間を設ける。
- ・地域の情報収集の場にしながら、何か支援できることがあれば協力していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	1	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	1	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	4	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・BCPの策定は完了 スタッフの周知もミーティングで行った。今後も引き続き緊急時・災害時の対応についての周知が必要なので研修会等の開催をしていきたい。
- ・自火報・非常ベル・スプリンクラーの使用方法をスタッフ全員が理解し万一の場合に備えていく必要があるので学習会等は引き続き予定をしていく。
- ・座学での確認学習は行ったが利用者さんを含んだ移動を伴う訓練はコロナ感染予防の観点から今年度も行えていない。
- ・災害時事業所が地域にどのような支援が出来るのか、検討していく必要がある。

【前回の改善計画】

- ・BCP（事業継続計画）の策定に向けて学習を進めていく
- ・スタッフの事業継続計画必要性の認識を構築していく。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・新型コロナウイルス感染予防のため密になる避難訓練は実施できなかった。スタッフのみで自火報と非常ベルの扱いについての勉強会を行った。
- ・避難訓練はいざという時大事なので定期的に行うようにしていく必要がある。
- ・夜間の災害時はスタッフが少ないので避難できるのか？不安はあるが…協力体制を構築していく必要がある。
- ・地域との協力体制も考えていかないといけないと思うので、地区役員さんと連携を取っていくことが今後の課題。
- ・最近の災害を鑑みると地震・火事以外の災害を意識しながら避難訓練を行うことが今後は不可欠になってきている。
- ・BCP対策に法人全体で取り組み今年度中に全介護事業所で策定の完了をする。

【改善計画】※後日記入

- ・BCP（事業継続計画）の研修会等で全スタッフの意識統一を行う。
- ・災害時における地域の支援体制の確認を行う